

令和4年度 政策評価表

		作成日	令和4年8月23日
リーディングプロジェクト	所沢ブランドの推進とまちの活性化	ゼネラルマネージャー	産業経済部長
未来(あす)を紡ぐミーティング(ATM)メンバー	経営企画部長、市民部長、環境クリーン部長、産業経済部長、所沢駅西口まちづくり担当理事、教育総務部長		
幹事会メンバー	産業経済部次長、企画総務課長、経営企画課長、広報課長、地域づくり推進課長、文化芸術振興担当参事、みどり自然担当参事、産業振興課長、商業観光課長、農業振興課長、所沢駅西口区画整理担当参事、スポーツ振興課長、文化財保護課長		

【リーディングプロジェクトの方向性】

本市には、狭山湖や狭山丘陵に代表される都市近郊の豊かなみどり、歴史の中で育まれてきた重松流祭囃子などの伝統文化や歴史的建造物、狭山茶・さといもなどの農産物、焼だんごや手打ちうどんといった食文化、「音楽のあるまちづくり」に代表されるモダンな市民文化など、市民が誇りに思う「所沢ブランド」が数多くあります。そして、まちの活性化を図るためには、こうした他市にも誇れる本市の魅力を十分に活かしていくことが必要です。

本市では、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催時期に合わせ、東所沢に新たな文化の拠点となる「ところざわサクラタウン」が開設するとともに、西武ドーム球場周辺のボールパーク化が計画されるなど、今後、国内外から多くの観光客が本市を訪れることが見込まれています。

国内はもとより、海外にまで本市の魅力を伝えることができるこうした機会を捉え、インバウンドに対応した多言語表示や通信環境整備といった基盤整備をはじめ、地元商店や地域における観光客受け入れに備えた取り組みなどを推進し、観光を軸とした魅力とにぎわいの創出のため、豊かなみどりと文化の魅力を伝える「所沢ブランド」を発信します。

【令和3年度に実施した事業】

「主な取り組み」にあたる事業

5-3-1 にぎわい拠点の創出・活性化（新規・既存の観光拠点整備・充実）	
「所沢市観光情報・物産館」活用事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）	商業観光課
観光拠点の整備・充実事業	商業観光課
狭山丘陵の魅力の発掘・向上事業	商業観光課
5-3-3 観光を軸としたブランド化の推進（地域製品のブランド化の推進）	
所沢ブランド特産品創出支援事業	産業振興課
所沢農産物ブランド化推進事業	農業振興課
ヘルスツーリズム産業創出支援事業	商業観光課

5-3-4 観光客誘致の強化（地域におけるインバウンド受け入れ体制の構築）	
インバウンド戦略推進事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）	商業観光課
効果的な観光客誘致プロモーションの推進事業	商業観光課

5-6-1 個性あふれる文化の創造 （市民主体の多彩な文化・芸術活動の促進、市民文化センターの改修）	
市民文化センター管理運営事業	文化芸術振興課
ストリートピアノ設置事業	文化芸術振興課

5-6-2 文化財の保護・活用（滝の城跡等の文化財の活用）	
歴史的建造物整備活用事業	文化財保護課
滝の城跡整備事業	文化財保護課
郷土の民俗芸能支援事業	文化財保護課

### 「関連する取り組み」にあたる事業

4-2-3 みどりと水の保全 （「水とみどりがつくるネットワーク」の構築、狭山湖周辺の魅力創出）	
水とみどりがつくるネットワーク計画推進事業	みどり自然課
狭山湖周辺人道橋整備事業	みどり自然課
水田景観保全事業	みどり自然課

6-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進 （所沢駅西口再開発・区画整理事業）	
所沢駅西口まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所
所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所
所沢駅ふれあい通り線築造事業（1工区）	所沢駅西口区画整理事務所

7-4-3 地域の総合力の向上 （地域の魅力を都市ブランドとして発信・COOL JAPAN FOREST 構想の推進）	
COOL JAPAN FOREST 構想推進事業	経営企画課
ダイアプラン推進事業	経営企画課

### 【評価及び今後の方針】

令和3年度の取り組みに対する評価
<p><b>にぎわい拠点の創出・活性化（新規・既存の観光拠点整備・充実）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「所沢市観光情報・物産館（YOT-TOKO）」を令和3年5月に開館し、本市の観光情報の発信及び特産品の販売等を通じた魅力発信拠点として、指定管理者による管理運営を開始した。</li> <li>・ 広報ところざわ7月号では、「所沢市観光情報・物産館（YOT-TOKO）」の特集記事を掲載。併せてJ:COMの広報動画「テレビ情報館」では、「YOT-TOKO」を紹介する5分間のテレビ番組を作成し放映。新たに誕生した観光拠点の魅力発信に努めた。</li> </ul>

- ・ 「第42回所沢市民フェスティバル」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。その後、Twitter および Instagram の公式アカウントにおいて過去40回分の市民フェスティバルの写真を対象としたフォトコンテストを開催し、SNS を活用した新しい形での周知活動の実施や令和4年度の開催に向けての気運の醸成を図った。

#### **観光を軸としたブランド化の推進（地域産品のブランド化の推進）**

- ・ 所沢らしさを追求した魅力ある逸品「所沢ブランド特産品」の第4回認定審査会を実施し、4商品を選定した。また、所沢ブランド特産品の特設WEBサイトにて認定商品（37商品）及び開発者の紹介を行うとともに販路支援を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に実施していた「新茶まつり」や「農業祭」等のイベントは開催を中止としたが、所沢市の特産品である狭山茶について、所沢市茶業協会と連携を図りながら、SNS を活用したPR活動を実施した。また、東京2020オリンピックにおいて、市のホストタウンとなったイタリア共和国の事前キャンプの食材として所沢の新鮮な農産物を提供することによりブランド化の推進を図った。
- ・ 「クアオルト 健康ウォーキング」を活用した観光振興を実施する「埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会」と協働して、「クアオルト健康ウォーキング」を実施し、広報ところざわや市ホームページ等による情報発信を行いつつ、観光と健康を融合した事業を展開した。
- ・ 広報ところざわ2月号では、「市内工場」の特集記事を掲載。商品や社員の紹介を通じて市内各工場の高い技術力発信に努めた。また、同5月号では、「狭山茶」の特集記事を掲載。市内の特色ある茶屋茶園を紹介するなどし、その魅力発信に努めた。

#### **観光客誘致の強化（地域におけるインバウンド受け入れ体制の構築）**

- ・ インバウンド戦略推進事業では、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、所沢市の魅力をPRするため、台湾で開催された「台北国際旅行博」に出展するとともに、インターネットを活用した情報発信を行った。
- ・ 「所沢市観光情報・物産館（YOT-TOKO）」においては、本市の魅力的な観光資源を発信するとともに、多言語に対応した観光パンフレットの提供を実施する等、外国人観光客向けの対応も充実した。

#### **個性あふれる文化の創造（市民主体の多彩な文化・芸術活動の促進・市民文化センターの改修）**

- ・ 市民文化センター・ミュージアムについては、新型コロナウイルス感染症の対策を施しながら安定した運営を継続し、市内外から多くの観客が来場した。また、街を歩くと、ふと音楽が聞こえてくる「音楽のあるまち」をさらに推進するため、昨年9月からグランエミオ所沢にストリートピアノを設置し、幅広い年代の方々に演奏や観覧を楽しんでいただいた。
- ・ 広報ところざわ1月号では、「受け継ぎ、伝える」と題した特集記事を掲載。本市の伝統産業や伝統芸能、またそれに携わるの方々の思いを通じて本市の魅力発信に努めた。

#### **文化財の保護・活用（滝の城跡等の文化財の活用）**

- ・ 歴史的建造物保存活用事業では、基本方針策定にあたって「ふるさと所沢」の未来を担う若い世代の声を反映させるため委員の公募選出に年齢要件を設け、20代から70代まで幅広い世代での意見交換を行った。

- ・ 滝の城跡整備事業では、「現地説明会」や、「滝の城跡発掘調査成果報告会」の開催を通じて、これまでの調査成果を分かりやすく市民に伝えた。
- ・ 郷土の民俗芸能支援事業では、継承団体の支援に努めるとともに、開催目的を「民俗芸能継承団体の活動再開の機運を高めること」として「第14回伝統芸能発表会」を開催（有観客とYouTube公開）した。発表会出演をきっかけに練習を再開する継承団体もあり、開催目的を達成することができた。

#### みどりと水の保全（「水とみどりがつくるネットワーク」の構築・狭山湖周辺の魅力創出）

- ・ 水やみどりとまちのにぎわいや魅力を結ぶ散策路を設定し「人を中心にしたまちづくり」の実現を目指す「所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画」について、庁内関連事業を相互に連携させ進捗を図ることを目的に、庁内会議「みどりトコトコ・プロジェクト」を開催し、情報共有を図るとともに進捗管理を行った。
- ・ 美しい自然景観が魅力の狭山湖やその周辺を訪れる散策者や観光客の安全を図るため、市道5-4号線に設置した人道橋「狭山湖ふれあい橋」の周囲について、安全対策と景観向上を目的に整備工事を実施した。
- ・ 上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内に残されている貴重な水田景観を保全するため、管理に必要となる作業用機械、道具等の保管や作業場として使用するための倉庫を設置した。

#### 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進（所沢駅西口再開発・区画整理事業）

- ・ 所沢駅西口土地区画整理事業地内において、歩行者が安心・安全に通行できる歩道のある区画道路を開通させた。また、県道久米所沢線の歩道の一部を拡幅整備した。
- ・ 人を中心にしたまちづくりの実現に向け、所沢駅周辺の回遊性の向上を目指した歩行者デッキの設計や所沢駅西口駅前広場の再整備について検討を進めた。
- ・ 鉄道の地下で立体交差する所沢駅ふれあい通り線について、道路用地の一部を取得した。

#### 地域の総合力の向上（地域の魅力を都市ブランドとして発信・COOL JAPAN FOREST 構想の推進）

- ・ COOL JAPAN FOREST 構想は、現在「成果創出期」にある。コロナ禍によるマイナス要因はあるものの、概ね順調に推移している。評価理由としては主に次の通り。  
  - ・ ところざわサクラタウンは11月に1周年を迎え、来場者数が100万人を超えた。
  - ・ 所沢市観光情報・物産館（YOT-TOKO）が5月にオープンし、観光情報の提供や特産品の販売とともに、各種イベントの会場として活用された。
  - ・ 市内初の小中高一貫校の誘致として、令和6年4月に県内名門校である開智学園が開校されることが発表された。
  - ・ 文化・教育関連事業として、市と株式会社 KADOKAWA 共同による「3万年のレシピ」を開催した。
- ・ ダイアプランでは、令和3年度に、日高市を新たに加えた「第3次埼玉県西部地域まちづくり構想・計画」を策定した。更なる5市連携によるまちづくりを推進することとしている。
- ・ 東京2020オリンピックでは、ホストタウンとして支援したイタリアチームはメダルを同国歴代最多となる40個獲得した。また、所沢市民体育館を練習拠点とするゴールボール女子チームが銅メダルを獲得し、本市のスポーツ・文化の振興などに寄与した。

- ・ 所沢シティマラソン大会は、参加者に本市の自然豊かな魅力を PR することで所沢ブランドの発信に寄与しているが、第 3 2 回大会も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2 大会続けて中止となった。

#### <総評>

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止や縮小を余儀なくされた事業等も多くあったが、その一方で、「所沢市観光情報・物産館（YOT-TOKO）」のオープンや、「東京 2 0 2 0 オリンピック・パラリンピック」の開催等に関連した上記の取り組みにより、本市の魅力を一層高めることができた。また、事業等を周知するためのツールとして SNS を活用することで、市内外に向けて所沢の魅力を効果的に発信することができた。

以上のことから、令和 3 年度は「所沢ブランドの推進とまちの活性化」の実現に向けて、着実に推進したと評価できる。一方で、日々変化する社会情勢に対応しながら、豊かなみどりと文化の魅力を伝える「所沢ブランド」をさらに発信していくために、令和 4 年度以降の事業の内容について、十分に検討していく必要がある。

#### 今後の方針

##### **にぎわい拠点の創出・活性化（新規・既存の観光拠点整備・充実）**

- ・ 所沢市観光情報・物産館（YOT-TOKO）と連携した、にぎわい拠点の充実を図る。
- ・ 今後も時機を捉えて、広報ところざわや市ホームページなどで市の魅力発信に努めていく。
- ・ イベントの開催にあたっては、国・県のイベント開催における感染防止対策を確認し、必要な対策を講じながら、安心・安全に開催できる方法を検討していく。

##### **観光を軸としたブランド化の推進（地域製品のブランド化の推進）**

- ・ 所沢ブランド特産品については、認定商品も充実してきたことから今後は販路支援として積極的に認知度向上のため周知を行っていく。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しながら、所沢市観光情報・物産館（YOT-TOKO）等でのイベント開催を通じて、市内外に対し所沢農産物の更なる周知を行い、ブランド化を推進していく。
- ・ クアオルト健康ウォーキングの周知を進め、参加者の拡大に努める。

##### **観光客誘致の強化（地域におけるインバウンド受け入れ体制の構築）**

- ・ 新型コロナウイルス感染症の収束後に見込まれる、インバウンド需要の回復に対応するため、海外に向けた情報発信及び外国人観光客の受入体制整備を進める。

##### **個性あふれる文化の創造（市民主体の多彩な文化・芸術活動の促進・市民文化センターの改修）**

- ・ 人々が市内にあふれる文化芸術に触れながらいきいきとした生活を送れるよう、今後も様々な事業を推進していき、「音楽のあるまち」をはじめとした様々な魅力を実感できるまちづくりに繋げていく。

### 文化財の保護・活用（滝の城跡等の文化財の活用）

- ・ 先人たちが育み今に伝わる文化財等を保護し、「ふるさと所沢」の魅力を伝える活用事業も積極的に開催して、市民が本市への愛着や理解を深めるよう努めていく。

### みどりと水の保全（「水とみどりがつくるネットワーク」の構築・狭山湖周辺の魅力創出）

- ・ 「所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画」について、庁内会議「みどりトコトコ・プロジェクト」の開催を継続し、引き続き情報共有を図るとともに進捗管理を行っていく。
- ・ 貴重な水田景観を保全するため、地元や関係団体の協力のもと水田の維持管理に努めていく。

### 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進（所沢駅西口再開発・区画整理事業）

- ・ 所沢駅周辺のにぎわいの創出を図るため、歩行者が安心・安全に通行できる道路の整備を進めるとともに、民間開発による広域集客型商業施設に所沢らしさを求めていく。
- ・ 人を中心にしたまちづくりの実現に向け、所沢駅周辺の回遊性の向上を目指した歩行者デッキの整備や所沢駅西口駅前広場の再整備を進める。
- ・ 所沢駅東西市街地の一体化や駅周辺の交通渋滞の緩和を目的とした所沢駅ふれあい通り線の築造を進める。

### 地域の総合力の向上（地域の魅力を都市ブランドとして発信・COOL JAPAN FOREST 構想の推進）

- ・ COOL JAPAN FOREST 構想における「成果創出期」の更なる進展を図る。  
新たな取組として、e スポーツ関連事業に取り組む。  
株式会社 KADOKAWA 主催による文化・教育関連事業等を支援していく。
- ・ ダイアプランにおいて、圏域への移住定住の促進を図るとともに、令和5年度に迎えるダイアプラン35周年記念事業の検討を行う。
- ・ リニューアルが完了した西武ドーム球場を使用し、狭山湖堤防を走るコース設定等、自然豊かな本市の魅力をPRできる大会を開催する。

## 【SDGsへの貢献】

1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを
3	すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任 つかう責任
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさも守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公正をすべての人に
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤を作ろう		